

News Letter

規格外・余剰野菜からつながるコミュニティ
～IT企業 株式会社Axis (アクシス) の取組～

IT企業「アクシス」(鳥取市、代表取締役 坂本氏)は、鳥取県東部を中心に生産者の方から、規格外や余剰野菜等を仕入れ、鳥取砂丘コナン空港や八頭町の隼Lab.などで販売する「Axisのやさい」を10月に開始しました。「Axisのやさい」では、取り扱う野菜等の一部を鳥取市内の子ども食堂を支援する団体に寄付しています。

食べられるのに捨てられてしまう食品である「食品ロス」が平成29年度の推計値で年間約612万トン*に及び、その中には規格外や生産調整等で生産現場で廃棄される現状があります。近年では食品ロス削減の取組は国際的にも関心が高まっており、

「Axisのやさい」全体イメージ図



らっきょうの花が開花



鳥取市福部町ではGI(地理的表示保護制度)に登録され、また鳥取市の花でもある「鳥取砂丘らっきょう・ふくべ砂丘らっきょう」の花が開花しました。JA鳥取いなば福部支店によると、町内では62軒の農家が約112ヘクタールのほ場でらっきょうを栽培しているとのこと。今年の開花は平年より1週間程度遅く、10月中旬から花が咲き始め11月中旬まで楽しむことができます。

企業でもその問題に貢献できることがあるのではと考えられたことがこの取組の始まりとのこと。この取組は生産者にとっては今まで捨てていた野菜が売り上げにつながるだけでなく、そのこと自体が子ども食堂を利用する子ども達の食料として役立つことにもなります。また、消費者にとっては地場の新鮮な野菜を安く購入できる機会となっています。

アクシスではこの取組が小さな農家の「やりがい」となり、地域貢献につながればと考えているそうです。

今後も定期的な販売が予定されています。今シーズンの販売は11月末で終了。来シーズンは3月以降に開始を予定しています。

*「食品ロス量(平成29年度推計値)の公表について」農林水産省出展

インフォメーション

#元気いただきますプロジェクト

～「あなたのひとくちが、ニッポンを元気にする。」～

農林水産省は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や輸出停滞などの影響で価格低下や売り上げ減少などが生じている農林水産業を支えるため、幅広い層の消費者の皆様に、食べて元気になって、生産者を応援する「#元気いただきますプロジェクト」を始動し、国産食材をおいしく味わっていただく機会の提供・提案を行っています。#元気いただきますプロジェクト事務局が、日本の食を担う生産者の声などの紹介、販売促進活動を後押しするキャンペーンの展開などのPR活動を行います。



#元気いただきますプロジェクト公式ウェブサイト

<https://www.kokusan-ouen.jp/>

“とっとりGo To Eatキャンペーン” について

Go To Eatキャンペーンは、感染予防対策に取り組みながら頑張っている飲食店を応援し、食材を供給する農林漁業者を応援するものです。農林水産省が民間事業者に委託して実施するキャンペーンです。

●登録飲食店で使えるプレミアム付き食事券の発行

採択事業者による食事券の販売期間 2020年11月2日～2021年1月31日

食事券の利用可能期間 2020年11月6日～2021年3月31日

食事券の販売場所 ローソン販売窓口

(2020年11月4日以降は新日本海新聞社本社、中部本社、西部本社、鳥取大丸、トスク(本店、雲山店、吉成店、フレッシュライフいわみ店、ふなおか店、河原店、丹比店、若桜店、用瀬店、佐治店、ちづ店*店頭での事前予約制)パープルタウン、まるごう(西倉吉店、倉吉東店、羽合店、東福原店、みのかや店、上後藤店、米子南店、西伯店、弓ヶ浜店、中山店、境港ターミナル店)、JU米子高島屋、米子天満屋、PLANT-5境港店)

*1人1回2セットまで購入可能

食事券の利用可能店舗

https://tottori-gotoeat.jp/store_list

(とっとりGo To Eatキャンペーン事務局)

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL(0857)22-3131(代) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>